

第24回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成24年1月

応募者名: 東京都第六建設事務所

事業の名称: 東京都市計画道路幹線街路
放射第11号線(新交通日暮里・舎人線
関連街路)整備事業

実施都市名: 東京都

事業目的

東京都市計画道路幹線街路放射第11号線は、台東区根岸二丁目を起点とし、足立区舎人四丁目を終点とする延長約11.9kmの都市計画道路である。

本事業は、区部北東部における交通利便性の向上を図るとともに沿道の開発を誘導し、地域活性化に資するため、「新交通日暮里・舎人線」(平成20年3月開通)の導入空間を確保するとともに、市街地の健全な発展及び交通の円滑化を図り、交通渋滞の緩和や良好な都市環境の確保を目的として整備した。

事業概要

事業名称:東京都市計画道路幹線街路放射第11号線
(新交通日暮里・舎人線関連街路)整備事業

路線名:都道台東川口線

事業箇所:荒川区西日暮里二丁目～足立区舎人三丁目

事業延長:9,810m

幅員:25～58m

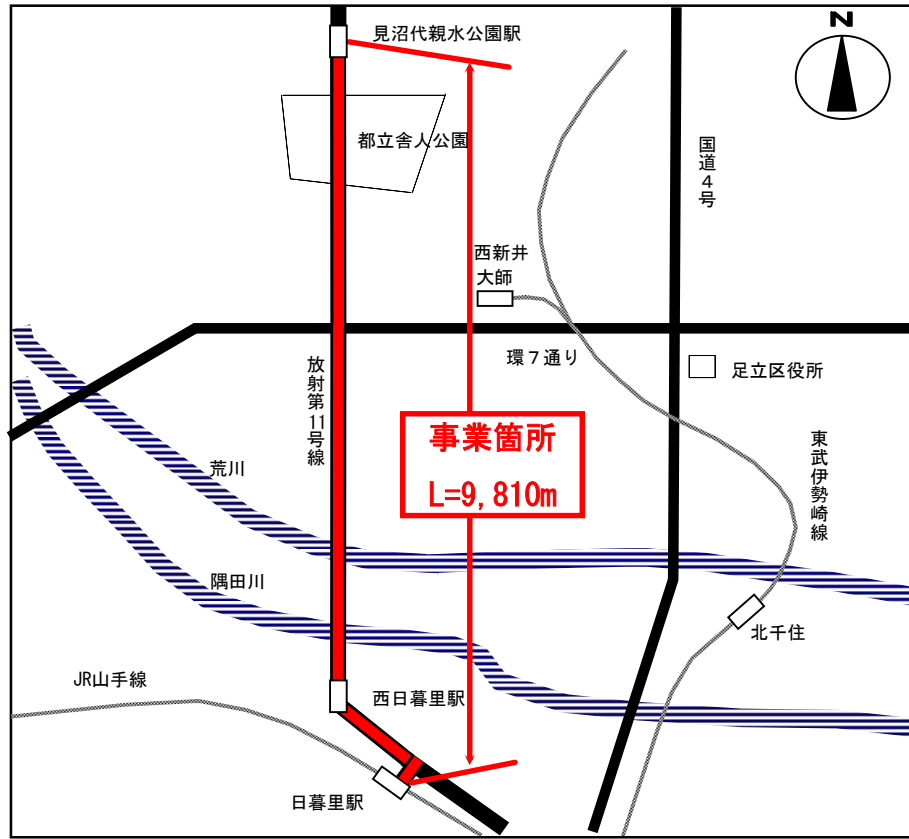
事業費:約327億円

事業実施期間:平成9年度～平成22年度

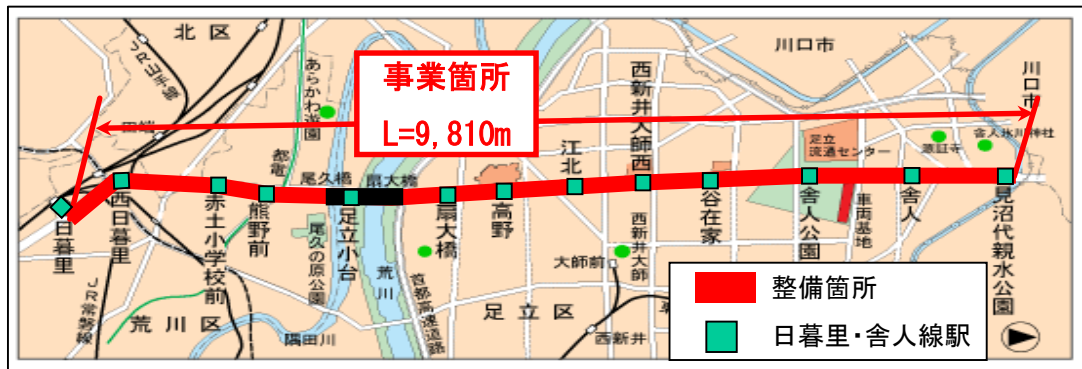
本事業は、「新交通日暮里・舎人線」の導入空間を確保するとともに、約9.8kmのうち、橋梁部を除く約8.9kmの街路整備を実施したものである。

整備にあたっては、車道部には低騒音舗装を実施し、沿道環境の向上を図った。さらに、歩道部では無電中化やバリアフリー化を行い、歩行者の安全性・快適性の向上に努めた。また、地元町会・区を交えた協議会「歩道整備車座会」を開催し、地元の意見を取り入れた歩道舗装・街路樹を選定し、地元と一体となって整備を進めた。

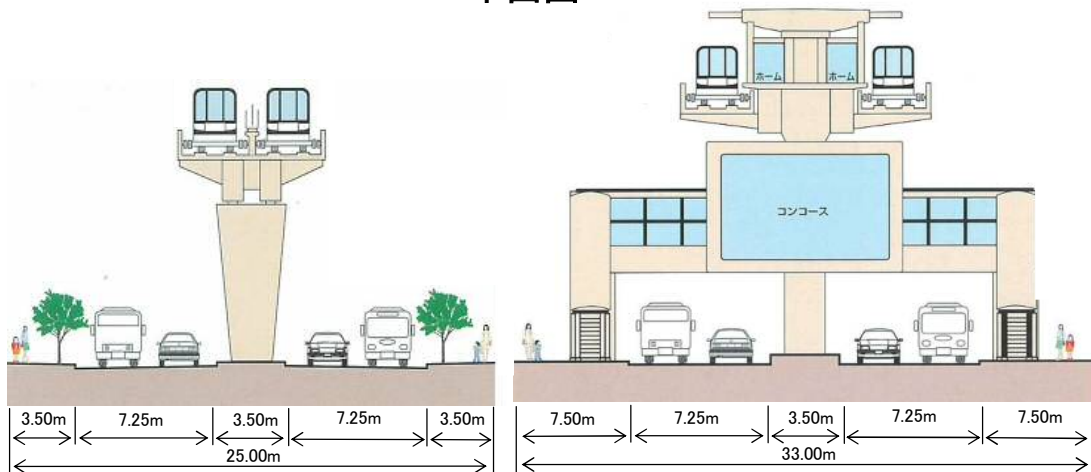
事業位置図



全体図(平面図・横断図)



平面図



標準横断図(一般部)

標準横断図(駅舎部)

放射第11号線の整備効果アピール資料

○事業概要

事業名: 東京都市計画道路幹線街路放射第11号線

(新交通日暮里・舎人線関連街路)整備事業

路線名: 都道台東川口線

事業箇所: 荒川区西日暮里二丁目～足立区舎人三丁目

事業延長: 9,810m

幅員: 25～58m

総事業費: 約327億円

事業期間: 平成9年度～平成22年度

「整備効果」

- ・車道舗装を低騒音舗装とすることで、沿道環境が向上した。
- ・歩道のセミフラット化、視覚障害者誘導ブロックの連続的な設置など、バリアフリー化を実施したことで、歩行者の安全性・快適性が向上した。
- ・街路樹を充実させることで、美しい都市景観を創出した。
- ・バスベイを設置し、交通の円滑化を図った。
- ・無電中化により、都市景観が向上した。

①



②



「その他の事業効果」

- ・新交通日暮里・舎人線との一体的な整備により、区部北東部の発展に寄与した。
- ・日暮里駅前再開発事業や地区計画区域の設定など沿道開発を促進し、都心部の後背圏としての開発を誘導した。

③



事業前写真

平成10年3月撮影



平成10年1月撮影



平成5年8月撮影



事業後写真

平成24年1月撮影

④



平成24年1月撮影

⑤



平成24年1月撮影

⑥

